

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

● Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川 建三

JR東労組

本部OB会

ニュース

No. 195 2014年1月発行

新春クイズ

安倍自民党政権は、衆参のねじれ解消を受けて、民意を無視し、臨時国会で極悪法案を次々に強行採決しました。

今こそ高齢者の声を怒りに！

《問題》

安倍政権は、チェック機能不全のまま情報統制を強化し、国民の知る権利を侵害する○○○○○○法を強行成立させました

〔応募要領〕

- の中に適当な文字を入れて下さい。
- ★ヒントは、「OB会ニュース」をよく読んで、答えを見つけて下さい。
- ★ハガキに答えと住所・氏名・OB会員番号を書いてご応募ください。

宛て先> ①151-8512
東京都渋谷区代々木2-2-6
JR新宿ビル 13F JR東労組OB会

賞品> 正解の方の中から抽選で33名の皆さんに下記の賞品が当たります。

- ◆ 1等 3名 1万円のびゅう商品券
- ◆ 2等 5名 5千円のびゅう商品券
- ◆ 3等 10名 3千円のびゅう商品券
- ◆ 特別賞 15名 1,000円の図書券

応募締切> 2014年1月25日 (消印有効)

当選発表> 次号No.196号 (2月号)

本部OB会が石綿問題で厚労省と国交省と初の勉強会

JR東日本の実態を報告、国の指導を要請



また田城議員と秘書も同席しました。厚労省からは安全衛生部から2名、労災補償部から2名、国交省

この勉強会に参加したのは、本部OB会の古川会長、本田副会長、伊藤事務局長、石井、川崎両事務局次長と、総合車両センター支部OB会を代表して東京の鈴木勇二さん、大宮の清水慎一さん、郡山の二瓶豊さん、そしてJR総連から黒田政治部長、JR東労組から串田業務部長と大沼中執です。

工場のOBも出席

暮れも迫ってきた12月10日、本部OB会は厚生労働省と国土交通省で「石綿問題の解決に向けて」の勉強会を行いました。この勉強会が開催できたのは、田城郁参議員の力添えがあったからです。

会長が「申し入れ書」を渡す

勉強会では串田業務部長の司会で始められ、田城議員から「私も石綿を使った電車を運転していた。JR退職者に石綿被害者がいると聞いているので、直接退職者の声を聞いてもらい、問題解決の第一歩になればと思います、今日の勉強会のお手伝いをさせてもらった」と挨拶を頂きました。

JR東日本の実態を報告

本部OB会が申し入れた内容は7項目で、中心的には①厚労省と国交省は、石綿被害の解決に向けて、どの様な周知方法で各企業を指導監督しているのか②JR各社の石綿被害者救済のための現

勉強会は今後も継続

今回の勉強会では、申し入れに対する回答は満足のものではありませんでしたが、JR東日本の石綿問題に対する実態を明らかにしたということでは、その第一歩が踏み出されました。今後も勉強会を開いていくことも確認されました。

本部OB会は、今後も田城議員とスクラムを組んで石綿被害で苦しんでいる人達や健康不安を抱えているOB会員のために、さらに取り組みを強化します。

「我らの声」原稿募集中

締め切り間近に迫る

- ☆ 締切り 2014年1月31日
- ☆ 一人一編 1,600字以内 (写真付き)
- ☆ 作品は各地本部OB会に提出して下さい

